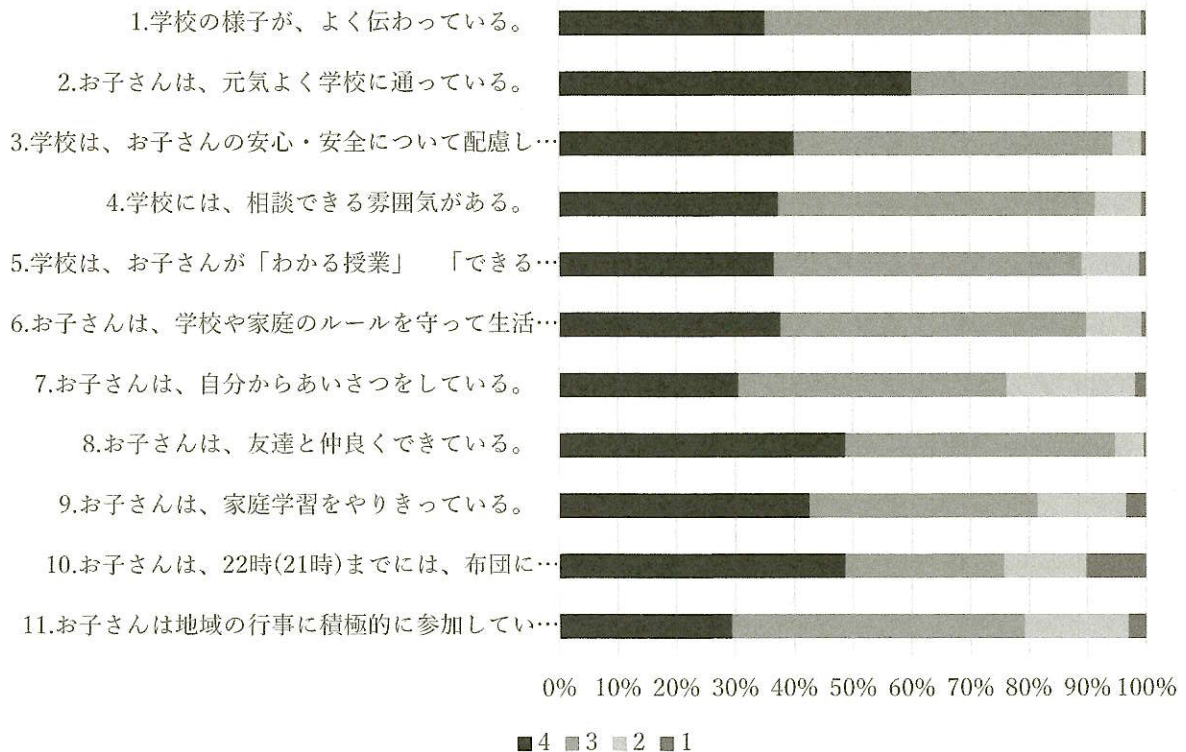


令和6年度 学校評価（学校関係者評価）結果について

令和6年度 肥田小学校 学校評価（保護者）



令和6年12月に学校教育に関わる学校関係者評価として、保護者アンケートを実施した。保護者が各項目について4・3・2・1で評価を行った。PTA会員214世帯（児童数283名）のうち265名分の児童の保護者を対象とした学校評価（11項目）について回答を得た。

4・3・2・1は、下記の内容である。

- | | |
|---|-----------------|
| 4 | そう思う |
| 3 | どちらかと言えば、そう思う |
| 2 | どちらかといえば、そう思わない |
| 1 | そう思わない |

11の項目についての評価結果は上のグラフの通りである。この保護者評価を受け、令和7年度の学校教育の実践に向けて、学校職員の意識と行動をどのように改善していくべきなのか考察する。

- 1 学校の様子が、よく伝わっている。（授業参観、懇談、学校報、学年通信、ホームページなど）
回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…93人 (35.1%) 3…147人 (55.5%) 2…23人 (8.6%) 1…2人 (0.8%)

【参考】令和5年度の結果

4…101人 (38.0%) 3…135人 (50.8%) 2…26人 (9.8%) 1…4人 (1.5%)

今後も学校の教育目標や学年目標の具現にむけて「今何に取り組む、どのような進捗状況にあるのか」について、年間を通して情報を発信していきたい。特に、Webサイトを活用した情報配信やすぐるを用いた学校報の配信について、配信方法の工夫に努めていく。

2 お子さん（自分の子）は、元気よく学校に通っている。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…159人（60.0%） 3…98人（37.0%） 2…7人（2.6%） 1…1人（0.4%）

【参考】令和5年度の結果

4…165人（62.0%） 3…85人（32.0%） 2…12人（4.5%） 1…4人（1.5%）

相談員の協力により、登校をしぶる子の居場所としての相談室を機能させている。相談員や養護教諭が相談室登校をする子と担任とをつないでいる。ケース会議や相談週間の位置付けなど、SOSが出せる学校の体制を維持することができている。今後も元気がなくなりかけている児童の心を支え、前向きにさせている実践の一つ一つの意味を確かめ、共有しながら、丁寧に歩んでいきたい。

3 学校は、お子さん（自分の子）の安心・安全について配慮している。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…106人（40.0%） 3…144人（54.3%） 2…13人（4.9%） 1…2人（0.8%）

【参考】令和5年度の結果

4…111人（41.7%） 3…137人（51.5%） 2…12人（4.5%） 1…6人（2.3%）

「1人の子の『命』を預かっている学校」であるがゆえに、この結果に満足せず、常に改善の余地を探し、追求していく必要がある。特に、「子ども自身に『命の守り方』について考えさせる」指導を大切にしたい。一つ一つの指導を単発で終わらせてしまうのではなく、つながりを感じさせることによって、今以上に「自分の命は自分で守りたい」と感じて行動する子を増やしていきたい。

4 学校には、相談できる雰囲気がある。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…99人（37.3%） 3…143人（54.0%） 2…21人（7.9%） 1…2人（0.8%）

【参考】令和5年度の結果

4…98人（36.8%） 3…133人（50.0%） 2…30人（11.3%） 1…5人（1.9%）

高い数値の回答をいただいているが、数値に関わらず常に学校課題として認識し、改善の歩みを止めてはいけない。引き続き、「保護者の願いを受け止め、願いに寄り添う姿勢を貫きながら聞く」姿勢を大切にしていける。それぞれの保護者が抱えている「わが子への願い」を聞き、常に立ち返りながら、解決策を共に考え歩んでいく姿勢を大切にしたい。

5 学校は、お子さん（自分の子）が「わかる授業」「できる授業」をしている。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…97人（36.6%） 3…139人（52.5%） 2…26人（9.8%） 1…3人（1.1%）

【参考】令和5年度の結果

4…92人（34.6%） 3…149人（56.0%） 2…23人（8.6%） 1…2人（0.8%）

高い回答をいただいているが、今年度の全国学力・学習状況調査の結果から見てきた課題に対しても真摯に向き合い、確かな実践へとつなげていく。

□ 国語

「漢字の覚え方」「条件付き記述」「書く」「話す」

□ 算数

「文章から立式する機会」「式やひっ算の足跡」「既習事項の定着」「記述する機会」

「教科書の丁寧な活用」

6 お子さん（自分の子）は、学校や家庭のルールを守って生活している。

（タブレット型端末の使い方、持ち物、通学路、家庭の約束など）

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…100人（37.7%） 3…138人（52.1%） 2…25人（9.4%） 1…2人（0.8%）

【参考】令和5年度の結果

4…92人（34.6%） 3…129人（48.5%） 2…37人（13.9%） 1…8人（3.0%）

「だれもが安心・安全に、楽しく前向きに、生活・学習することができるようにするため」にルールや約束は存在するということを理解させたい。そのために、「ルールを守ることの『自分にとっての意味』」をつかませたい。自分自身への願いに照らし合わせた時、「ルールを守れていない自分」をどう感じるのか？そんな自分のままでよいのか？指導の終末にそんな問いかけをすることで、「自分にとってのルールの意味」をつかませていきたい。

7 お子さん（自分の子）は、自分からあいさつをしている。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…81人（30.6%） 3…121人（45.6%） 2…58人（21.9%） 1…5人（1.9%）

【参考】令和5年度の結果

4…72人（27.1%） 3…129人（48.5%） 2…57人（21.4%） 1…8人（3.0%）

子どもの時期に、挨拶の意味について深く考えることには大きな価値がある。それは、挨拶が毎日繰り返し行われる習慣であり、一瞬の姿で人柄が評価・判断される可能性を秘めている所作であり、一瞬の積み重ねが他者との良好な人間関係を築くことにつながるからである。

道徳の授業や低学年の国語の授業、外国語の授業、あいさつデイなどの活動の場において、きちんと立ち止まって挨拶の価値について考えを深め、普段の挨拶を実践の場と捉え、その都度、指導していきたい。

8 お子さん（自分の子）は、友達と仲良くできている。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…129人（48.7%） 3…122人（46.0%） 2…13人（4.9%） 1…1人（0.4%）

【参考】令和5年度の結果

4…118人（44.4%） 3…132人（49.6%） 2…15人（5.6%） 1…1人（0.4%）

高い回答に満足することなく、仲良くできていないのではと思われる5.3%の児童が、同じ学級の中に存在している事実こそ目を向ける。QUの結果を活かした学級・学年経営や道徳の時間を要とした思いやりの心を育む指導など、よりよい人間関係形成につながる教育実践を今後も継続していきたい。

9 お子さん（自分の子）は、家庭学習をやりきっている。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…113人（42.6%） 3…103人（38.9%） 2…40人（15.1%） 1…9人（3.4%）

【参考】令和5年度の結果（学習時間は、十分だと思う）

4…97人（36.5%） 3…120人（45.1%） 2…41人（15.4%） 1…8人（3.0%）

日々の「価値付け（取り組んでよかったという充実感）」の大切さについて改めて認識を深めた。日中の忙しい合間を縫って行う作業になるが、様々な工夫を施しながら、一人一人の努力を価値付け続けていきたい。子どもたちの宿題の足跡とじっくりと向き合い、自分がその子に提示した宿題は本当にその子にとっての最適な内容・方法・量となっているのかを検証したい。そして、そこに教師が歩み寄るべき課題を見つけ、個別最適な家庭学習となるように改善していく営みが求められている。

10 お子さん（自分の子）は、22時までには、布団に入っている。（1～3年生は、21時）

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…129人（48.7%） 3…72人（27.2%） 2…37人（13.9%） 1…27人（10.2%）

【参考】令和5年度の結果（睡眠時間は十分だと思う）

4…124人（47.0%） 3…69人（28.6%） 2…46人（12.4%） 1…27人（12.0%）

歯科指導や元気アップCPNなど、基本的生活習慣の確立につながる指導や活動の機会が充実しているところが肥田小の強みである。この特色を最大限に活かし、実際の子どもたちの生活リズムの改善につなげていくためにも、意味指導の改善を図りたい。保健委員を中心にしながら、十分な睡眠をとることのメリットや睡眠不足のデメリットを発信し、子どもたちにその気にさせる指導を展開したい。睡眠時間を不足させている要因を出し合わせながら（本音を吐露させながら）も、「けれどそこを我慢して睡眠時間を確保することが大切なんだ」という考え方を全校的に共有できるとよい。

11 お子さん（自分の子）は、地域の行事に積極的に参加している。

回答者延べ265人（割合は、およその数である）

4…78人（29.5%） 3…132人（49.8%） 2…47人（17.7%） 1…8人（3.0%）

【参考】なし

＊ 今年度から、新たに追加

この肥田町にも、伝統的に継続している様々な行事があるが、そもそもそれらの行事への参加方法を子どもたちが知っているのか…「知っているけれどあえて参加していない」のか「知らないから参加していない」のか、まずはそこに私たちが乗り越えなければならない壁がある。

総合的な学習の時間を筆頭に、「地域を知る」活動がいくつか展開されている。今後は、「知る」の先にある「体験する」「貢献する」というステップにまで、活動の幅を広げていきたい。「地域を愛する」子どもを育てるために、中学校とも連携を図りながら、「小学校においてどこまで地域を（で）学ぶのか」といった視点も含めながら指導改善を図っていきたい。

令和6年度 学校評価（保護者及び児童）結果についての比較

■ 保護者評価と児童評価の比較表（%）

		① 学校のこと	② 元気	③ 安心・安全	④ 相談	⑤ わかる	⑥ ルール	⑦ あいさつ	⑧ 仲良く	⑨ 宿題	⑩ 9・10時	⑪ 地域行事
4	保	35.1	60.0	40.0	37.3	36.6	37.7	30.6	48.7	42.6	48.7	29.5
	子	52.7	65.7	43.5	43.2	50.3	60.3	56.3	78.1	68.5	40.4	44.5
3	保	55.5	37.0	54.3	54.0	52.5	52.1	45.6	46.0	38.9	27.2	49.8
	子	31.2	26.4	38.7	32.2	38.7	30.5	27.5	16.1	19.9	23.7	31.5
2	保	8.6	2.6	4.9	7.9	9.8	9.4	21.9	4.9	15.1	13.9	17.7
	子	9.9	4.8	10.3	15.4	7.2	5.8	8.1	3.4	9.2	21.2	16.5
1	保	0.8	0.4	0.8	0.8	1.1	0.8	1.9	0.4	3.4	10.2	3.0
	子	6.2	3.1	7.5	9.2	3.8	1.4	8.1	2.4	2.4	14.7	7.5

特に指導改善を図りたい項目は以下のとおりである。

③ 学校にいと安心できますか？

… おおよそ5人に1人が、学校において「安心」を十分には感じていない。

④ 先生たちに相談できますか？

… おおよそ4人に1人が、先生に相談しにくいと感じている。

⑩ 夜9時（10時）までには、ふとんに入っていますか？

… おおよそ3人に1人の就寝時刻が、健康的ではない。

⑪ 地域の行事に積極的に参加していますか？

… おおよそ4人に1人が、積極的に参加していない。

保護者評価に加え、児童自身の声にもきちんと耳を傾け、改善の挑戦を続けていきたい。

R6年度学校評価(職員) 肥田小学校

令和6年12月

1 全体にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	学校の教育目標の具現…「よく学び たくましく 心豊かな子」が育っているか	3.1
2	研究推進 …対話的な活動を通して「分かった・できた」が実感できる授業づくりができたか	3
3	学年・学級目標 …学年・学級目標を目指した子が育っているか	3.1
4	いじめ・不登校の未然防止…ほかに言葉・行動等、互いに尊重し合う態度、ルールとリレーションの確立ができたか	3.1
5	期の指導のねらいと取組…期のめあての設定、三部の取組、集会は児童にとって有効であったか	3
6	日課、週時程、朝活動、は適切であったか	3
7	行事(学校、学年、児童会)…内容、時期、時間数は適切であったか	3.3
8	生徒指導対応…アンケートの活用、子どもの話に傾聴し、組織で対応できたか	3.3
9	教育相談…職員の共通理解のもと、相談室、教育相談対応を行い、全ての児童に相談的姿勢での対応ができていたか	3.3
10	道徳教育…年間指導計画に則った授業を推進し、思いやりの心で人に接することのできる子が育っているか	3
11	人権教育…どんなときも、どの子も尊重され、またお互いの違いを理解しようとする心が育っているか	3.1
12	特別支援教育 …個の能力、特性に応じた指導を行い、子どもの困り感に寄り添い、将来、社会的自立ができる児童が育っているか	3
13	特別活動…自分の役割に責任をもち、集団活動での連帯感、所属間をもつことのできる児童が育っているか	3.1
14	総合的な学習の時間…ふるさと学習や特別支援学校との交流を通して、仲間や地域の人と関わり、地域に愛着をもち、自己の生き方を考えようとする児童が育っているか	3.2
15	日本語指導…外国人児童の実態に応じ、子どもによりそった日本語指導を行うことができたか	2.9

2 学習部にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	学習指導…学習姿勢、学習規律、学習環境	2.9
2	図書指導 …豊かな読書、図書室運営、図書室掲示、読書指導、読書週間、(花さき会)	3.4
3	情報教育 …タブレット・実物投影機の活用、情報モラル指導、HPの作成	3
4	校内掲示、作品募集・管理	3.3

3 生活部にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	生活指導…生活態度、生活習慣(挨拶、廊下歩行、トイレ・下駄箱の整理整頓、落とし物等)	2.7
2	清掃指導…もくピカ清掃、掃除道具の点検・整備、掃除週間	2.9
3	児童会活動…3つのほこり、各委員会活動、その他	3.1
4	分団指導、登下校指導…毎日の登下校、分団下校、分団会、交通安全教室	3

4 健安部にかかわって

番号	評価内容	評価平均
1	体力づくり…水泳指導、ACP	3.1
2	安全指導…安全点検、命を守る訓練、事故対応(アレルギー対応など)	3.1
3	給食指導、食育…給食時の配膳・片付け・マナー指導、衛生・栄養指導、食に関する指導	3.2
4	保健指導 …性教育、歯に関する活動(歯きり、毎日の歯磨き等)	3.6
5	その他(保健に関わる管理)…衛生的なトイレ、身長に合った机や椅子の調節、保温・加湿・換気	3.1

4→今年度大変成果があったので、今年度のように継続するとよい

3→今年度成果があったので、概ね今年度のように継続するとよい

2→改善の必要がある

1→根本から検討し直す必要がある

【全体にかかわって】

- ・学校の教育目標…「よく学び たくましく 心豊かな子」の具現を目指し、日々教育活動に取り組む中で、多くの職員が成果を感じているが、各学年、各指導部1つ1つの指導がどのようにこの姿につながっているのかを共有していく必要がある。来年度に向けて、そこを明確にしていきたい。
- ・研究推進…昨年度、市の指定発表を終えたが、今年度も同様のテーマで研究を継続して行ってきた。対話的な活動を通して主体的に授業に取り組む児童が増えてきた。その結果を踏まえ、来年度の研究の方向を決定していきたい。
- ・日課、週時程…昨年度から火木曜日の朝活と掃除を無くし、児童の下校時刻を早めており、その日課が児童にも職員にも定着した。放課後の時間が長くとれるようになったことで職員の働き方改革にもつながっている。来年度も継続していく。
- ・生徒指導、教育相談…今年度から「教育相談週間」を位置づけ、アンケート実施後に担任や相談員が全児童と1対1で話す時間を設けたことで、児童の悩みや不安に早期に気づき対応することができた。また、適宜ケース会議を行うことで情報共有を行い、組織で対応することができた。来年度も継続していきたい。
- ・総合的な学習の時間…全学年が東濃特別支援学校との交流、1, 5年生はこども園の園児との交流を行った。また多くの学年が地域の方に講師をお願いしたり、地域の施設を見学させてもらったりして学習を行った。これらの活動を通して、様々な人との関わりの中から学び、地域に愛着をもち、考える力が育っている。来年度も地域と関わった学習を継続し、更に増やしていきたい。
- ・日本語指導…現在本校には30名を超える外国にルーツをもつ児童が在籍しており、国際教室での取り出し指導の時間が充分確保できていない現状もある。国際教室の指導内容、指導方法の質の向上はもちろんだが、そこに頼り切らず、通常学級でも可能な限り個々の日本語能力を向上させるための取り組みをしていくことが必要である。

【2 学習部にかかわって】

- ・学習指導…学級間における差が激しい。職員同士が学び合うことで、その差を少なくしていく必要がある。
- ・図書指導…図書支援員によるブックトーク、花さき会による読み聞かせ、図書委員会を中心とした読書週間の取り組みなど、年間を通して計画的に図書指導を行うことができた。それにより、児童が普段選ばないような本に触れる機会ができ、様々な本を読むことができている。来年度も継続していく。
- ・情報教育…タブレットを使った学習が定着してきているが、使用のルールが守れていない場面もある。定期的にルールの確認を行っていく必要がある。SNSでのトラブルもあるため、来年度も情報モラル指導を年に何度か行う。

【3 生活部にかかわって】

- ・生活指導…毎年の課題だが廊下を走る児童がなかなか減らず、安全面で心配である。委員会を中心に、廊下歩行について取り組んでいく。記名を呼び掛けているが、記名のない落とし物が一向に少なくなる。もっと保護者に呼び掛けていくとともに、自分の持ち物を大切にする指導を行っていく必要がある。
- ・児童会活動…3つの誇りを職員も児童も、昨年度より意識できてきたように感じる。活動全般において目指す姿を共有し、価値付け広めていく。
- ・分団指導…職員による通学路の安全点検をより丁寧に行う必要がある。

【4 健安部にかかわって】

- ・体力づくり…ACP にもっと取り組んでいくと、体力づくり以外の面でも効果が出る。各学級での取り組みを増やしていく。
- ・安全指導…今年度、命を守る訓練をやり直し、改善が見られたことはよかった。日頃から「話を聞く」指導を徹底していくことが「いざというときに命を守る」ことにつながっていく。引き続き高い危機管理意識をもって指導に当たっていく。
- ・保健指導…保護者や地域の方にも協力していただいた歯きらりの活動はとてもよいので継続していく。性教育をどの学年にも計画的に指導していけるようにしたい。
- ・その他…机の高さを調節したり、保温、換気、加湿を適宜行ったりして環境を整えていく。